

2026年7月7日

WTTC「Hotel Sustainability Basics」、 GSTC 認証フレームワークへの段階的な移行を見据え第三者認証制度へ

世界 85 か国で 8,000 軒以上のホテルが導入するプログラムが信頼性・透明性を強化、
GSTC 認証フレームワークへの段階的な移行を見据え、国際的な評価共通基盤の構築を推進

2026年6月25日、WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）が、ホテル向けサステナビリティプログラム「Hotel Sustainability Basics」を、独立した第三者認証制度へ移行すると発表しました。この新たな認証制度は、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（Global Sustainable Tourism Council、以下 GSTC）の認証フレームワークへの段階的な発展を目指して設計される予定です。



Hotel Sustainability Basics



Accredited:  GSTC

Partner:  World Sustainable Hospitality Alliance

今回の移行は、環境に関する表示や主張の信頼性向上を求める EU の新たな規制動向も踏まえたものであり、ホテルのサステナビリティへの取り組みを、国際的に信頼される形で示すための基盤強化につながります。さらに、ホテルはサステナビリティへの取り組みについて、第三者による客観的な評価・認証を受けられるため、旅行者や企業、投資家などに対して、より信頼性の高い形で取り組みを示すことが可能となります。

■「Hotel Sustainability Basics」とは

「Hotel Sustainability Basics」は、2022年にWTTCがホテル業界とともに開発したプログラムであり、エネルギーや水資源の管理、廃棄物削減、温室効果ガス排出量への対応、地域社会への貢献、自然保護など、ホテルが取り組むべき12の基本アクションを提示しています。

ホテルの規模やブランドを問わず導入しやすいことから、現在では世界85か国・8,000軒以上のホテルで採用され、ホテルサステナビリティの実践における共通基盤の一つとなっています。

今回の発表は、このプログラムが GSTC 認証フレームワークに向けた第一歩となることを意味しており、ホテルサステナビリティに関する共通の考え方や評価方法が、世界でさらに広く共有されていくこととなります。

■コメント

WTTC CEO Gloria Guevara (グロリア・ゲバラ) 氏

Hotel Sustainability Basics は、サステナビリティが実践可能であり、あらゆるホテルで取り組めることを示してきました。第三者認証制度への移行により、ホテルは世界的に認められた枠組みの中で、その取り組みをより信頼性の高い形で示せるようになります。

GSTC CEO Randy Durband (ランディ・ダーバンド)

これはホテル業界にとって大切な節目です。ホテルサステナビリティにおける信頼性と一貫性のあるアプローチがさらに強化されます。WTTC の「Hotel Sustainability Basics」が GSTC 認証フレームワークに沿った認証制度へ発展することは、業界全体が共通の目標に向かって協力することで実現できる成果を示すものです。

GSTC はこれからも、WTTC をはじめとする業界関係者とともに、共通の方向性のもとでホテルサステナビリティの評価基盤を発展させ、旅行・観光産業全体の持続可能性向上に向けて寄与してまいります。

■グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会 (GSTC) について

グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会 (Global Sustainable Tourism Council) は、持続可能な旅行・観光に関する国際標準「GSTC スタンド」を策定・管理する国際非営利団体です。国連環境計画 (UNEP) や国連世界観光機関 (UNWTO、現 UN Tourism) 等の支援のもと 2007 年に設立され、現在は各国政府、観光局、ホテル、旅行会社、認証機関、NGO など、世界中の多様なステークホルダーが会員として参画しています。

GSTC は観光事業者を直接認証する機関ではなく、サステナブルツーリズム認証を行う第三者機関の認定や、国際スタンダードの普及、人材育成・研修などを通じて、持続可能な観光の推進を支援しています。



・GSTC ホームページ (日本語) :

<https://www.gstc.org/?lang=ja>